

会議結果報告書

平成30年8月24日

会議の名称	平成30年度 志木市地域医療連絡協議会（第1回）
開催日時	平成30年8月23日（木）午後1時30分～2時40分
開催場所	市役所 3階 301・302会議室
出席委員	岩崎智彦会長、鎌田昌和幹事、蓼沼寛委員、奈倉勇爾委員 渡部日恵副会長、椎木雅和幹事、西野博喜委員、鳥飼香津子委員、 相神和子委員、轟 君昭委員（副署長代理）、村上孝浩副会長、 豊島俊二委員、村山修委員、阿部 剛委員、近藤政雄委員、 中村 修委員、久保久仁子委員、佐野雄一委員、金澤嘉子委員、 今野美香幹事 (計20人)
欠席委員	加藤広久委員、田口理史委員、庭山憲次委員、近藤竜太委員 (計 4人)
説明員職氏名	杉田明子（健康増進センター主幹） (計 1人)
議 題	(1) 平成29年度事業報告及び30年度新規事業について (2) 在宅医療・介護連携事業について (3) (健康長寿埼玉モデル「健康寿命のばしマッスルプロジェクト」進捗状況について (4) 生活習慣病重症化予防対策事業の進捗状況について (5) その他
結 果	別紙、審議内容の記録のとおり (傍聴者 0人)
事務局職員	清水裕子、志田真由美（健康政策課）

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

自己紹介（委員・事務局）

2 役員選出

会長・・・岩崎智彦 様

副会長・・・渡部日恵 様、村上健康福祉部長

幹事・・・鎌田昌和 様、椎木雅和 様

今野健康福祉部参事兼健康政策課長

3 会長挨拶 岩崎智彦会長よりご挨拶

4 議 題

（1）平成29年度事業報告及び30年度新規事業について

各所属の事業内容等について各担当委員より報告した。

- ・ 長寿応援課
介護認定審査実績報告
- ・ 子ども家庭課
保育園児健康診断事業、要保護児童対策地域協議会活動状況、
- ・ 児童発達相談センター
各種支援・相談事業、児童発達相談センター児の内訳
- ・ 健康政策課
国民健康保険保健事業、各種がん検診事業、朝霞地区4市の状況
おいしく減塩！「減らソルト」プロジェクトの進捗状況
- ・ 健康増進センター
定期予防接種事業、母子保健事業、健康増進事業、歯科保健事業、
こころの健康づくり事業、しきっ子あんしん子育てサポート事業
平成30年度新規事業
- ・ 保険年金課
国保における医療費の推移、後発医薬品の使用促進対策、
後発医薬品利用率
- ・ 学校教育課
市立小中学校健康診断実施結果
- ・ 志木消防署
事故種別、年齢区分別及び傷病程度別の搬送人員

<質疑応答>

Q 子ども家庭課資料・虐待の種類別実人数の確認について

A グラフの見方を説明する

Q 学校教育課資料・歯科検診う歯の疾患数について。

数が多いと思うが、C0も入れているのか。算出方法は。

A う歯の過去の罹患も含めている。算出方法については、
今後検討する。

参考までに、う歯のない小学生は、85.6%で、そのうち、

う歯が全くない児童57.8%、う歯処置済27.8%。

う歯のない中学生は、84.4%、そのうち、う歯の全くない

生徒は67.4%、う歯処置済17.0%である。

(2) 在宅医療・介護推進事業について

長寿応援課より資料に基づいて説明を行った。

(3) 健康長寿埼玉モデル「健康寿命のばしマッスルプロジェクト」進捗状況
について

健康政策課より資料に基づいて説明を行った。

<質疑応答>

Q 医療費の効果について、くわしくご説明願いたい。

A 国民健康保険被保険者の医療費を分析・算出している。

事業に参加している人（介入群）と、していない人（対象群）の医療費を比べ、介入群の医療費が、対象群と同じように医療費がかかった場合、平成27年度から継続して3年間、この事業に参加している人の医療費は、1年間で約4万円の抑制効果があった。

(4) 生活習慣病重症化予防対策事業の進捗状況について

健康政策課より資料に基づいて説明を行った。

Q 受診勧奨をして、医療機関に受診しない理由はどんな内容だったのか？

A 把握はまだできていないが、電話番号が分かる人のみ勧奨をしているので、電話による勧奨は、少ないのが現状である。

5 閉 会

渡部副会長よりご挨拶

